

## ファースト・アカデミー ニュースレター

## 本物の個別指導を！

‘09 4月 第36号

1. 暖冬ってどうなの
2. 思い描き行動へ
3. 前向きにチャレンジしよう
4. 古典にコテン
5. 汁かけ飯



## 暖冬ってどうなの

今年も冬が過ぎ、春を迎えようとしています。私が“ガキンチョ”だった頃は毎年のように雪が降り積もり、スキー遊びやソリ遊び、雪合戦にかまくら作りと、雪とともに冬を過ごしたものです。昭和38年の“サンパチ豪雪”や昭和56年の大雪も経験していましたが、最近では暖冬続きで今年の冬も降雪はありましたが、積雪はほとんどありませんでした。

ところで、『暖冬』を論じるとき、その原因についてはよく議論的になりますが、影響についてはあまり議論されていないのではないのでしょうか。そこで暖冬のメリットとデメリットについて考えてみました。メリットについてはまず、エアコンやヒーターを使用する頻度が減り、温暖化の元凶とされる二酸化炭素の排出量が減ること。またスノータイヤやタイヤチェーンを装着する期間が短くなったり、装着する必要がなくなることで、道路が傷むことが少なくなり、更に消雪装置の使用も少なくなって、地下水のくみ上げ過ぎによる地盤沈下の心配もかなり解消されること。ついでに言うと私のようにギックリ腰の経験

のある者にとっては雪かきをする必要がないというのありがたいです。

ではデメリットはどうでしょうか。1つにはスキー場などの雪頼みのレジャー施設がふるわなくなること。そして衣料品などをはじめとする冬物商品などが売れなくなることなどがあります。また山などに積もった雪が春になってとけた水は、貴重な自然の恵みであり、それがなくなることは天然の資源を失うことにつながります。更にクリスマスや元旦に雪がないと、なんとなく冬を実感しにくいということもありますが、まあこれは気分の問題ですからそれほど考慮しなくていいかもしれないでしょう。

こうして考えてみると暖冬は“環境”にはやさしいけれど“経済”にはあまりありがたくないといことでしょうか。まあ私のような車の運転はするけれど、スキーはしないという者にとって暖冬は大歓迎なのですが・・・。

それではサルヂエ・クイズです。

## 【今月のサルヂエクイズ】

第1問

おなじみのある・なしクイズです。

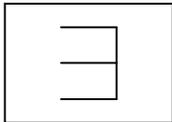
ある          なし

穴蔵	倉庫
覚悟	決心
切腹	自害
雑談	討論

ヒント：“ある”ほうには何かが隠れています。  
漢字をよく見てね。

## 第2問

ある野球大会の決勝戦で、1 - 0で惜敗したチームの選手がこう言いました。「自分たちは負けたけれどそんなに・・・」さて、このセリフの最後の言葉を次の暗号から解説してください。



ヒント：ヨがどうなっている？

## 前回の答え

第1問：“マジギレ”を別の言い方で表すと「頭にきている」になります。そうです、頭（最初）にキテがいるので答えはキティちゃんでした。

第2問：“はんらん”“かしかり”“かいたい”“ほうおう”の重なっている文字を抜くと「腹」「尻」「頬」「肩」というふうになら“体の部分”が隠されていました。

(土井)

## 思い描き行動へ

勉強が大好きな人は別として受験勉強自体は「どうしてこんなことまで覚えなきゃいけないの？」というぐらい多量のことを覚えなければいけません。辛くてつまらないものが

もしれません。しかしそうした受験勉強が苦しくなったときには、自分の大きな夢がある人はふみとどまり前進できるのです。自分の今の成績ではこのあたりの学校しかいけないというような消極的な考えを捨てて、高い目標を設定して、その夢から逆算して成績UPの方法を考えれば、自ずと道は見えてきます。但し、方法論は代ゼミのDVDなど素晴らしいものがありますが、ただ「ああそうか」と思っても、本人が実際に勉強というアクションをおこさないかぎり合格は絵に描いた餅です！今の成績が良かろうが、悪かろうが、少なくとも今勉強をやらないかぎり伸びようがないのです。結局はやったかやらないかの差です。ただ当塾は膨大な受験までにこなさなければならぬ課題をいかに能率よく、1、2年で完成するknow-howには自信を持っています。志望校突破という目標に向かってやるべきことは決まっているので、やった者勝ち、早いもの勝ちです。自分に厳しくこのスピード勝負に勝ち抜くよう、今すぐスタートをきりましょう！

(宿谷)

## 前向きにチャレンジしよう！

先日王貞治氏が某TVで

“結果は自分でつかめ”

“結果が出るまで徹底しろ”

“プロはミスをしない”

と言っていた。

仕事も勉強も試練の連続である。しかし自分の能力を信じてチャレンジしていけば、道

本物の個別指導を！

は必ず開けてくる。当然目の前には幾重にも困難が、誘惑をともなって立ちほだかり、挫折しそうになる。これぐらいでいいだろうと考えたら理解不能という名のリスクが忍び寄ってくるものである。更にリスクを回避し続けると、雪だるまのようにどんどん大きくなる。

ただし**逃げてはいけない!!** 真正面から困難にぶつかっていけば、解決のヒントが浮かぶものである。解決のヒントを見つけたらそれを逃がさないことである。これはリスクが日々の努力の積み重ねによって、チャンスに生まれ変わる瞬間である。努力もせずに“自分は頭が悪い”などの自己否定は人間的に一番つまらないものである。とにかく**体力の続く限りにやってみる**。そうすれば理論、方法論を越える驚きに遭遇するものである。

(小川)

## 古典にコテン

その12 源氏物語 その3『若菜の巻』

苦難の時を乗り越えて、源氏の君は、太政大臣から准太上天皇(上皇に準ずる待遇)にまで出世する。これは、『桐壺の巻』で、7歳の源氏の君が、高麗人の相人(人相見)から「帝王という最高の立場にのぼるはずの人相がありになる方だが・・・」という予言が的中したことになる。もっとも、苦難の時というのは、敵方である右大臣家の姫君の「朧月夜(東宮妃とするために大事に育てられていた)」と密会していたのを、右大臣邸で右大臣に発見され、源氏追放の計画がめくらされる。これを察知した源氏の君は、全てを投げ捨てて須磨の地に隠棲する他はなかった。ところが、夢のお告げで、明石の入道の元に行き、その

娘と結婚し、娘が生まれる。後に、その娘が、明石の女御と呼ばれ、皇太子を生むことになる。

政治的には、何一つ不自由のない、藤原道長のような源氏の君であったが、家庭的には大変なことになる。奥さんが一人でも大変だと思うが、源氏の君は、広大な六条院を造営し、西南には秋好中宮、東南には源氏の君と紫の上、東北には花散里、西北には明石の君に割り当て、それぞれの女主人の好みに応じて、四季の庭園を造った。さらに、そこに宮中より女三の宮がお輿入れになる。身分の差で、それまで正妻の位置にいた紫の上が遠慮せざるを得なくなる。ただ、女三の宮があまりに幼すぎて、源氏の君の期待に反した。朝早く、女三の宮の部屋を出て、紫の上の部屋に向かう源氏の君。つれない仕打ちに部屋に入れてくれない紫の上と侍女軍団(侍女たちも源氏の君のお手が付いているので、うらまれている)。源氏の君は、寒さにうち震えるのみ。

そうこうしている時に、この『若菜』の巻が始まります。春ののどかな日に、天上人たちが六上院にやって来る。四十一歳の源氏の君がお出ましになって、お話をなさる。「のどかで、気のまぎれることがないね。朝廷にも個人的にも、何も用がないしね。何をして暮らしたらよいか」などとおっしゃる。そうすると、若人どもが、蹴鞠をしていると聞いてこの六条院に呼び寄せる。そこで事件が・・・。今まで人の恋人を奪ってきた源氏の君が、親友の頭の中將(昔の、今は内大臣)の長男の柏木に、女三の宮を・・・。

大長編なので読むのは大変ですが、読み出すと、ワクワクドキドキ、とてもおもしろい

ですよ。ただし、時間がかかります。現代語訳で……。チェンジではなく、チャレンジしてみてください。

(坂本)

## 汁かけ飯

戦国大名であった北条氏康には氏政という息子がいた。ある日、食事の際に氏政が汁を一度、飯にかけたが、汁が少なかったのもう一度汁をかけ足した。これを見た父の氏康が「毎日食事をしておきながら、飯にかける汁の量も量れんとは。北条家もわしの代で終わりか」と嘆息したという逸話がある(汁かけ飯の量も量れぬ者に、領国や家臣を押し量ることなど出来る訳がない、の意)。事実、氏政の代(名目上は氏政の息子の氏直が当主であったが、実質的には氏政が北条家を取り仕切っていた)で北条家は豊臣秀吉の攻撃を受けての滅亡している。

この逸話そのものは後世の創作らしいのだが、私は、この話の内容には一面の真理が含まれていると思う。

「普段」「当たり前」「基本的な」ことが出来なくて、応用などできるはずがないのだ。

普段からケアレスミスが多い生徒にくどくどと注意をしたとき、生徒の言い訳としてこんな言葉をよく聞く。「ここ一番(本番)ではしっかりと注意しながらやるから、大丈夫」と。私はこの言葉をこれっぽっちも信用していない。普段からそういうことができなくて、どうして本番でうまくいこうか。

「基本」と「応用」ということに軸を向けば、この逸話は使い勝手がいい。色々な場面で使える有効なテーマだと思うので、話題の一つとしてストックしてみてもは如何だろう

か。

(加藤)

次回5月号は4月20日発行予定です。

学力向上のヒントがいっぱい!!!

ファースト・アカデミー 塾講師の徒然日記

<http://first-academy.at.webry.info/>

ファースト・アカデミーの公式ホームページ

<http://www.first-academy.jp/>

加藤先生ブログ：教室長の冒険譚

<http://caerleon.blog.drecom.jp/>

↓補習などの連絡はこちらから↓

ファースト・アカデミー 情報BOX

<http://first-send.jugem.jp/>

(文責) 教務部 広報課

小松駅前校 小松市土居原町194

0761-21-8863

栗津駅前校(永田教室)

小松市符津町ウ84-10

0761-44-5550

栗津駅前校(田嶋教室)

小松市蓑輪町二17

0761-44-5530

山代校

加賀市山代温泉

山背台2-75

0761-76-1922

0120-44-5981